

令和7年2月21日

令和6年度 学校評価アンケート結果及び考察

※ 3.5 以上を青色、3.0 未満を赤色で表示している

平戸市立大島小学校

	項目	児童	保護者		教職員	平均
			家庭・地域の様子	学校での様子		
1	学習の理解(わかりやすい授業)	3.70 (↑0.5)	3.30 (↑0.1)	3.70 (↑0.2)	3.90 (↑0.2)	3.65 (↑0.15)
2	体験や活動、学びの実感	3.70 (↓0.3)		3.80 (↑0.1)	3.90 (↑0.3)	3.80 (↑0.1)
3	月10冊以上の読書	3.50 (↑1.1)	3.00 (-)		3.30 (-)	3.27 (↑0.37)
4	家庭学習・宿題	3.70 (↑0.3)	3.10 (↑0.1)		3.10 (↓0.2)	3.30 (↑0.07)
5	表現力の育成	3.50 (↑0.3)		3.60 (-)	3.60 (-)	3.57 (↑0.1)
6	学校が楽しい	3.90 (↑0.3)	3.80 (-)	3.60 (-)	3.70 (↓0.2)	3.75 (↑0.02)
7	満点挨拶	3.30 (↑0.7)	3.30 (↓0.1)		3.60 (↓0.1)	3.40 (↑0.17)
8	早寝・早起き・朝ごはん	3.10 (↑0.1)	3.00 (↓0.1)		3.60 (↑0.6)	3.23 (↑0.2)
9	メディアコントロールの意識	3.40 (↑1.2)	2.50 (↑0.1)		3.60 (↑0.2)	3.17 (↑0.5)
10	時間やルール、マナー	3.60 (↑0.6)	3.20 (↑0.1)		3.40 (↓0.2)	3.40 (↑0.17)
11	整理・整頓	3.10 (↑0.3)	2.50 (↓0.1)		3.00 (↓0.3)	2.87 (↓0.03)
12	教職員への信頼(相談しやすい)	3.80 (↑0.4)		3.50 (↓0.1)	3.30 (↓0.3)	3.53 (-)
13	食事のマナー、感謝	3.70 (↑0.3)	3.20 (↑0.2)		3.40 (↓0.3)	3.43 (↑0.1)
14	健康・安全	3.70 (↑0.3)	3.30 (↑0.1)	3.60 (-)	3.60 (↑0.2)	3.55 (↑0.15)
15	体力の育成	3.50 (↑0.3)		3.70 (-)	3.40 (↑0.1)	3.53 (↑0.53)
16	道徳性(思いやり等)	3.70 (↑0.3)	3.50 (↑0.4)	3.40 (↓0.1)	3.30 (↓0.1)	3.48 (↑0.08)
17	目標に向けて努力 特別支援教育	3.80 (↑0.8)	3.30 (↑0.4)	3.40 (-)	3.60 (↑0.7)	3.53 (↑0.53)
18	郷土愛	3.80 (↑0.6)	3.50 (↑0.1)		3.90 (↑0.3)	3.73 (↑0.33)
19	環境美化	3.80 (↑0.6)		3.70 (-)	3.70 (↑0.6)	3.73 (↑0.23)
20	ボランティア活動	3.50 (↑0.1)		3.50 (-)	3.40 (↑0.3)	3.47 (↑0.17)
21	家庭・地域との連携	3.70 (↑0.3)	3.50 (↑0.2)	3.50 (↑0.1)	3.40 (↓0.2)	3.53 (↑0.1)

【考察】

全体的な平均点から

- ・ 総平均は3.47（昨年度は3.43）。4点満点として達成率は86.8%。
- ・ 今年度は前期（1学期末）と後期（3学期始め）の2回おこなっている。前期との比較は矢印（↑↓）で表示している。

3.5以上の評価項目について

- ・ 学校教育の根幹である「学習の理解」の評価が3者とも前期より向上している。教職員の指導力にICT等の活用もあり、よい効果が出ている。
- ・ 保護者評価において、「学校での様子」は評価が高いが「家庭・地域での様子」は評価が低い。家庭・地域では児童の素が出ていると考えられるが、「学校だから」「先生が見ているから」ではなく児童が自然に望ましい行動ができるようにしていきたい。
- ・ 「学校が楽しい」については児童・保護者・教職員すべてが高評価となっている。

3.0未満の評価項目について

- ・ 保護者評価の「メディアコントロール」「整理・整頓」が3.0未満となっている。
- ・ 「メディアコントロール」は前期は児童への設問が「ゲームやテレビの時間は1日2時間以内を守っている」となっていたが、1学期末の役員会で「ゲームやテレビの時間は学年に応じて各家庭で決める」となったため、評価が向上した面がある。しかし、教職員の繰り返しの地道な指導や、学校保健委員会での石橋先生の話を受けて、実際にゲームの時間が改善できた児童もいた。
- ・ 「整理・整頓」は、前期より児童の自己評価は上がったが保護者の評価は下がっており、児童と保護者でギャップが見られる。
- ・ 「満点挨拶」については、児童の評価は前期2.6と低かったが、今回0.7ポイント向上した。学級で、集会などで、繰り返し指導した効果が出ている。教職員は学校での姿しか見ていないが、地域では声が小さかったり挨拶ができていなかったりしているとの声もあり、今後も学校だけでなく地域での挨拶もできるようにしていきたい。